

『悪口』 作：ポチ子

『悪口』 作：ポチ子

私の悪口を言うあの人の悪口を聞いた。

あの人の席からは遠い資料室。

小さな声でコソコソと。

あの人も言われてるんだ、悪口。

私と同じように。

嫌われてるのは私だけだと思っていた。

でも、あの人も嫌われてるんだ。

そうか、そうなのか。

気づかなかったな。

人に好かれるのって難しい。

私のこと散々に言っている。

それと同じくらい、

あの人は散々に言われてた。

もっとスッキリすると思っていた。

ざまあみろって。

けど、あの人の悪口が聞こえる資料室。

かわいそうだと思った。